

# 令和元年度における各 PCB 処理事業の進捗状況について

## 1. 概況

令和元年度の処理進捗率は、令和 2 年 3 月末現在、トランス類 96.0%（対前年度末 4.1 ポイント増）、コンデンサ類 94.0%（対前年度末 3.4 ポイント増）、安定器・その他汚染物は、64.8%（対前年度末 4.6 ポイント増）となっている。

### (1) 北九州 PCB 処理事業

トランス類、コンデンサ類は、平成 30 年度末で処理を終了した。

安定器・その他汚染物の進捗率は 69.4%で、令和元年度は北九州事業エリア分 169 トン、大阪事業エリア分 606 トン、豊田事業エリア分 302 トンの処理を完了した。

### (2) 豊田 PCB 処理事業

令和元年度は順調に処理を進め、進捗率はトランス類が 93.7%、コンデンサ類が 95.4%。

トランスは車載トランスを中心に処理しているほか、特殊形状コンデンサ、漏えいコンデンサ、PCB 油・保管容器類及び大阪事業エリアに保管されているポリプロピレン等を使用したコンデンサの一部の処理についても処理が進捗している。

### (3) 東京 PCB 処理事業

令和元年度は、順調に操業を行っており、進捗率はトランス類が 96.8%、コンデンサ類が 88.3%。

北海道事業エリアに保管されている超大型トランス、豊田事業エリアに保管されている車載トランスが処理を完了した。

大阪 PCB 処理事業所から発生する廃粉末活性炭及びについて引き続き処理を行っている。

### (4) 大阪 PCB 処理事業

令和元年度は順調に処理を進め、進捗率はトランス類が 98.7%、コンデンサ類が 95.6%。

豊田事業エリアに保管されている特殊コンデンサの一部、北海道事業エリアに保管されている特殊コンデンサの一部については引き続き処理を行っている。

### (5) 北海道 PCB 処理事業

令和元年度は順調に処理を進め、進捗率はトランス類が 92.4%、コンデンサ類が 92.0%、安定器・その他汚染物が 60.5%。

安定器・その他汚染物については、令和元年度は北海道事業エリア分 305 トン、東

京事業エリア 756 トンの処理を完了した。

※各進捗率は、PCB 特措法に基づく「PCB 廃棄物処理基本計画」及びこれを踏まえた JESCO の処理の見通しによる数字により算出した。

## 2. 処理実績

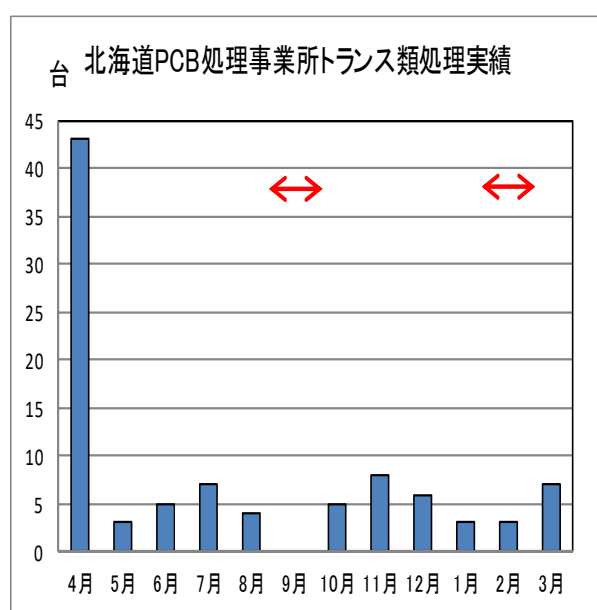
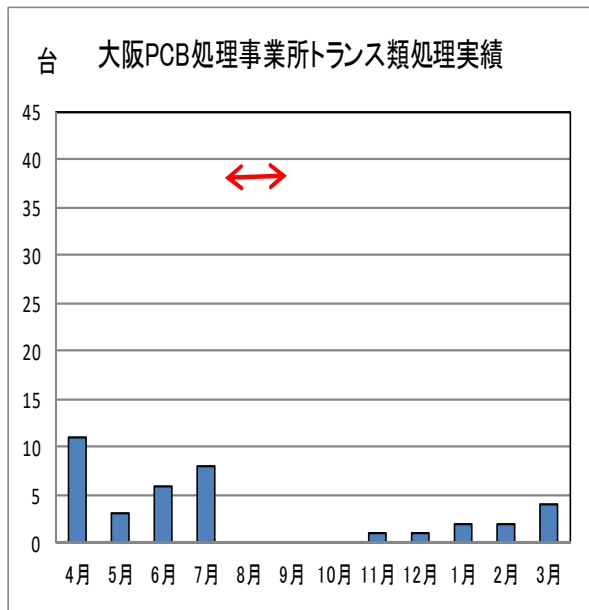
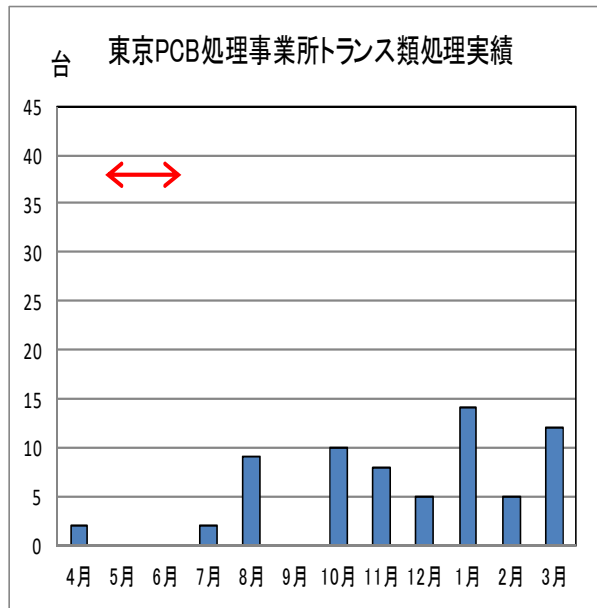
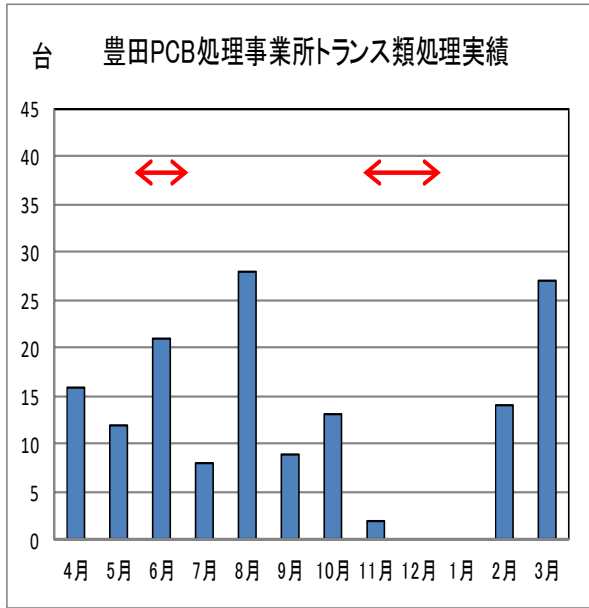
令和元年度に、5 事業合計で、トランス類を 349 台、コンデンサ類を 19,172 台、PCB 油類を 3,298 本、安定器・その他汚染物を 2,138.5t 処理した。

試運転開始後これまでの処理量の合計は、トランス類 15,536 台、コンデンサ類 340,983 台、PCB 油類 21,039 本、安定器・その他汚染物 12,272t である。

各 PCB 処理事業の令和元年度月別処理実績を図 1 に示す。

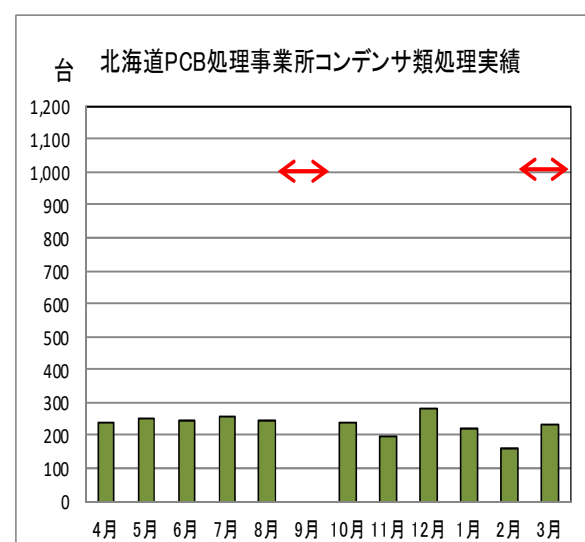
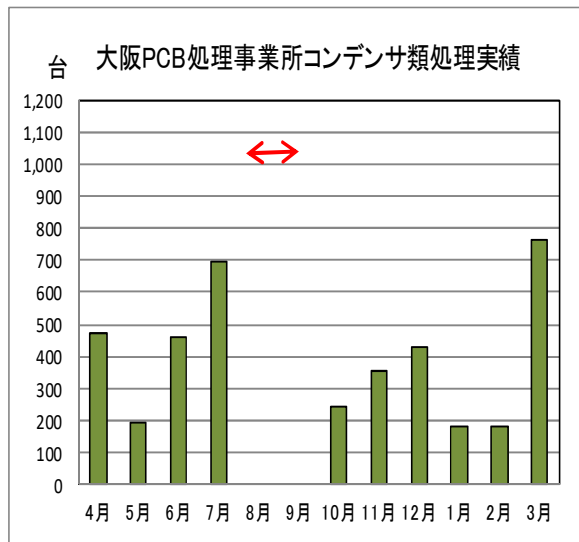
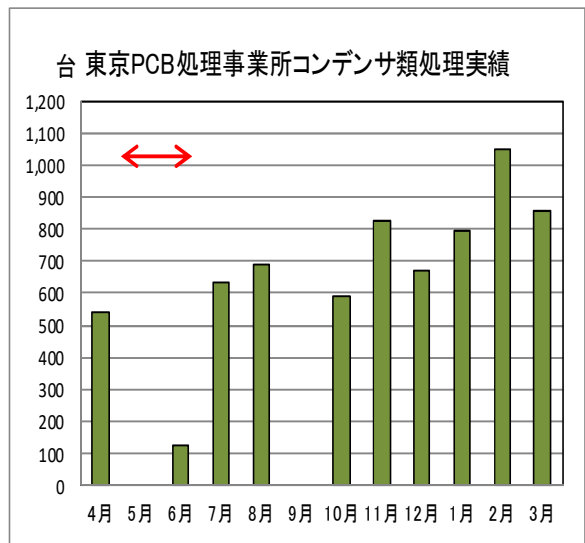
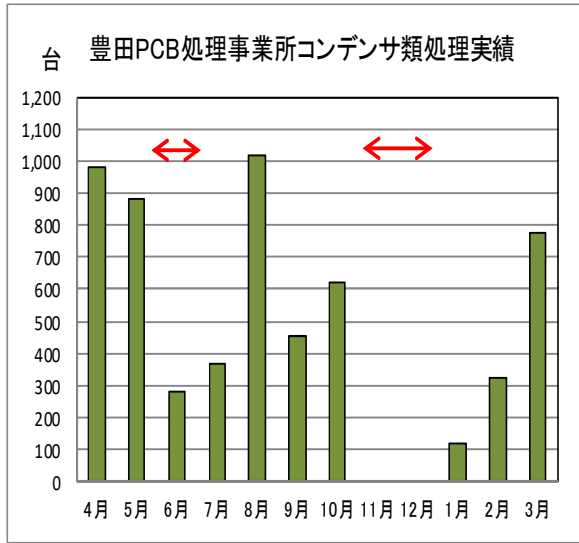
図1 令和元年度月別処理実績

○ トランス類



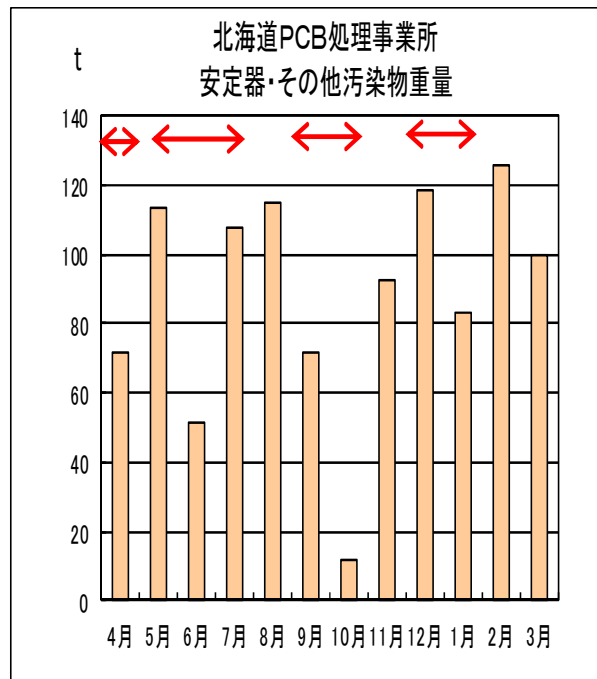
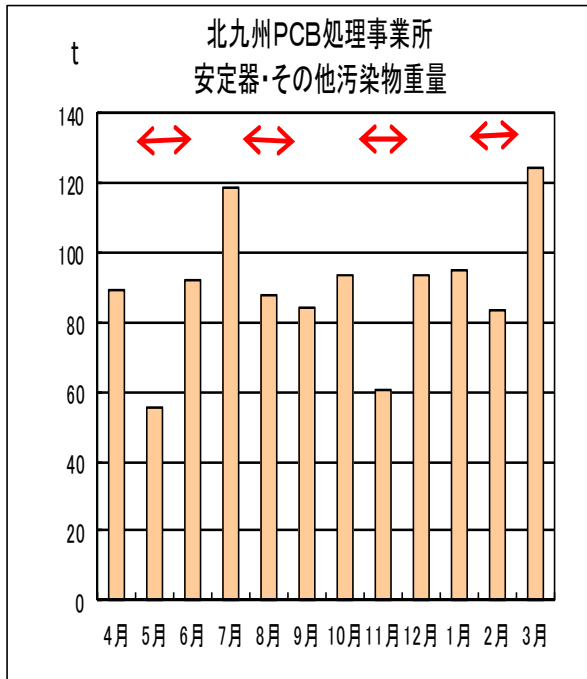
↔ : 定期点検等

○ コンデンサ類



↔ : 定期点検等

○ 安定器等その他汚染物



↔ : 定期点検等